

北野小学校
学校だより

松風

鷹栖町立北野小学校
文責：教頭 尾中康裕
第 6 号
令和4年9月30日

「なんでこんな勉強しないといけないの？」（なぜ学ぶのか）

校長 北島 信

爽やかな秋、北野地区の稲刈りも無事に終了の様です。台風14号の被害を受けるかもしれないと心配していましたが、運良く外れてくれました。おいしい新米を食べて、健康になりたいものです。平成16年の風台風、平成28年台風10号の南富良野町堤防決壊、平成30年のブラックアウト（地震ですが）など、自然災害による被害が大きかったことを思い出します。異常気象の時代です。非常事に向けての備えが必要な時代のように思います。

さて、子どもは、日頃の宿題や自主学習など、毎日長い時間を勉強にあてなければなりません、いつでも楽しんで取り組める子はそんなに多くはありません。宿題という義務感による勉強です。「なんでこんな勉強しないといけないの？将来絶対に使わないのに」と、学年が上がるにつれて、お母さんやお父さんにそんな不満をぶつけてくる子いることでしょう。

今回は、そんなときの回答例として2つ紹介します。価値観に合うものがあればぜひ使ってみてください。

回答例その①

子どもから「なんでこんな勉強しないといけないの」とはじめて言われたときには、まずは標準的な説明を試してみてもよいかもしれません。

「いまやってる勉強ってね、家やお城の土台みたいなもので、ただの石のかたまりに見えるかもしれないけど、将来その上にそれぞれのやりたいことを積み上げると、お店や野球場や病院、好きな仕事場になるんだよ。もし、土台がぐらぐらだと、やりたい仕事になれないかも」と基礎固めの時期の大切さを教えたり、「大きくなったらどんな仕事をしたいかもう決まってる？仕事によっては、そのための学校を卒業しないとできない仕事があるんだ。たくさんの種類の仕事が君を待ってるのに、今から選択肢を減らしちゃったせいで選べなかったら残念だね。」

「大昔の子ども達は学校なんてなかったけど、そのかわり、親の職業をそのまま引き継がないといけないんだ。今は違うよね？好きなことを勉強して好きな仕事を選べるよ。どっちがいい？」と、将来やりたい仕事が決まるまでは選択肢を広くもっておこうという考え方を伝えてみるのもいいでしょう。逆に言えば、お母さん、お父さんが子ども達の選択肢を広げてあげるいちばんの責任者でもあります。

回答例その②

「なんでこんな将来使わないようなことを勉強しないといけないの？」「スマホで調べたら分かるじゃん」という子どもの問いをよくよく考えてみると、そもそも「勉強」とは？という疑問がわいてくるはず。世の中、正解があるものとないものがあるよね。正解があるものはたしかに調べれば分かるかもしれない。でも、大人になって、例えば1000万円の貯金で自分のお店を開くかどうか迷った時には、スマホでは正解なんて分からない。だから、お金のことや商品のこと、法律のこと、お客さんの心理などをたくさん勉強しないといけないよね。今学校でやっているのはその始まりの部分なんだよ。」

日本では、他の国と比べて、考え方や視点を評価するのではなく、用意された正解を答えられるかどうかで採点するテスト問題が非常に多いといわれています。そのため、子どもから前述のような不満がでてくるのかもしれないね。

「勉強」って本来はゴールや目的にたどりつくための手段なんだよね。あなたたちがやるべきは、知らなかったことを教わったり調べたり考えたりして喜べる“学習”のほうだよ。大人になっても教科書の内容をどんどん詳しくつきつめていくのは“学問”や“研究”で、歴史や文化などをきちんと知って会話や生活の中で使いこなすのは“教養”だね」と、勉強と学習・学問・教養の違いについて子どもと一緒に見直してみるのも良いかもしれません。

この他にも、学び方を勉強しているということをお話するのもいいことだと思います。点数のためではなく、どうやったら、わからないことやできないことができるようになるのかを練習しているという話も有効かと…。

終わりになりますが、福沢諭吉の『学問のすゝめ』では、「天は人の上に人を造らず 人の下に人を造らず」が有名ですが、続きも含めて現代語に訳すと以下ようになります。「人はもともとみんな平等で同じだといわれるが、世の中を見れば賢い人も愚かな人もいて、貧富の差や身分の高低もずいぶんある。生まれた時は同じでも、しっかり学問に取り組んだかどうかで、賢く金持ちにも、卑しく貧乏にも人生は変わるのだ。」ここでの「学問」は仕事に役立つ実用的な知識や技能を指していますが、時代背景は違えど、勉強や学習は自分の未来のために色々なことを身につけていく充実した時間であるべきです。とはいえ、大人が納得できないことを言い聞かせても子どもはすぐ分かってしまいます。

どの時代も同じですが、保護者の皆さんが、確固たる信念で子育てをして、子ども達を導いてあげてください。「学ぶこと」はとても大事です。

5年生宿泊学習に行ってきました！



【カヌー体験】



【クライミング】



【フローカーリング】



【川の科学館】



【美術自然史館】



【(株)北海道地図(旭川市台場)】

5年生が滝川市・深川市へ宿泊学習のために行ってきました。カヌーに乗ったりクライミングをしたり、フローカーリングをするなど、日常では体験することができない多くの活動を行いました。子どもたちにとって初めての体験が多かったようで、活動するたびに感動していました。今回の宿泊学習で学んだことを今後の生活に生かしてほしいと思います。

十日の行事予定

- 三日(月) 朝会(任命式)・交通指導日
- 四日(火) 会議日課(五時間)
- 五日(水) 後期児童総会
- 六日(木) クリーン作戦
- 七日(金) 学芸会係活動①・食育(三年)
- 十日(月) スポーツの日
- 十一日(火) 学芸会特別時間割開始
- 十二日(水) 学芸会係活動②
- 十七日(月) 交通指導日
- 十八日(火) 学芸会係活動③
- 十九日(水) 学芸会児童公開日
- 二一日(金) 学芸会係活動(諸準備)
- 二二日(土) 第一二四回学芸会
- 二四日(月) 振替休業日
- 二五日(火) 学芸会後片付け(五・六年)
- 二六日(水) 委員会
- 二八日(金) 博物館社会見学(四年)

